

## 【文学部 学部間協定留学】留学報告書

記入日	2025年3月8日
所属	文学科演劇学専攻 (学科/専攻)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2025年3月2日
明治大学卒業予定年月	2026年3月

### 留学先大学について

留学先国	ドイツ
留学先大学	ビーレフェルト大学(日本語名) Universität Bielefeld(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語、ドイツ語/英語、ドイツ語
留学期間	2024年3月～2025年3月
留学先大学で在籍した学年	一年生
留学先の所属学部等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入)            ※学部等名(日本語):文学・言語学専攻            (現地言語での名称):Literature und Linguistik wissenschaft</p> <p><input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している  <input type="checkbox"/> その他:</p>
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:9 月～3 月末      2 学期:4 月～7 月末 3 学期: ~      4 学期: ~

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (€)	日本円	備考
授業料	620	100,000 円	学費はないが 1 ゼメスターごとに semester fee を 300€ほど払った。(DB チケット代)
宿舎費	310 × 12	600,000 円	光熱費込み
食費	80-90 × 12	156,000 円	基本自炊、たまに外食
図書費	87	14,000 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	120	19,000 円	Vodafone
現地交通費	0	0 円	DB チケットでドイツ国内の公共交通機関は基本無料(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2800	453,000 円	
被服費	480	77,000 円	
医療費	600	97,000 円	歯の治療、ピル処方
保険費	130 × 12	252,500 円	形態:日本の保険の他に、ドイツの国民保険に入る必要があった。私は TK を使用。
渡航旅費	1500	240,000 円	
ビザ申請費	100	16,000 円	
雑費		円	
その他	400	64,000 円	生活用品、お土産など
その他		円	
合計	13,000	約 200 万円	

渡航関連			
渡航経路			
往路 出発地:羽田 目的地:Hannover 経由地:Dubai			
復路 出発地:Düsseldorf 目的地:羽田 経由地:Dubai			
渡航費用			
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:エミレーツ 料金:24 万円ほど			
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:			
航空券購入方法			
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:エミレーツのサイトから購入) <input type="checkbox"/> その他( )			

## 滞在形態関連

### 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:o-kiste) アパート ホームステイ

### 2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 )

### 3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

### 4)住居を探した方法:

最初の住居は大学から自動的に手配されたものだった。しかし、その寮の契約が留学期間中に切れてしまうことになったので、WG-Gesucht というアプリや友人の紹介、大学のインターナショナルオフィスに問い合わせるなどして新しい住居を探した。

### 5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

初めは一人寮に住んでいたが、途中からはシェアハウスに引っ越しした。シェアハウスでは掃除のルーティーンや買い物の分担もしっかりしていたので、揉めることもなくとても楽しい時間を過ごすことができた。

## 現地情報

### 1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり (治療を受けた場所:歯医者、薬局 )

### 2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり (問題の内容や相談した人等:友人、大学のインターナショナルオフィス )

### 3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

特に犯罪に巻き込まれたり、怖い思いをすることはなかった。ただドイツ全般に言えることだが、基本的にどの街も HBF の近くは治安があまり良くないことが多いので、夜は一人で近づかないようにしていた。また、サッカーの試合があったりカーニバルがあったり何かイベントがあると酔っ払っている人なども多くなるので一人ではあまり歩かないように誰かといた方がいい。

### 4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットの接続は時々とても悪く、ネットを使いたいときは授業がなくとも大学へ行くことも多くあった。携帯は Vodafone を使っていたが、接続はあまり良くなかったのでおすすめはしない。開設がしやすかったのと、EU 圏内であればそのままどこでも使えたのは便利だった。

### 5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ビザを申請するために、「閉鎖講座」と呼ばれる口座と普通口座を作る必要があった。まず、閉鎖講座に 1 年分の生活費を入れ、そこから毎月一定額が普通口座に送金される仕組みになっていた。また、現地の口座と併せて Wise もよく利用した。

### 6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

基本的に現地で手に入るの特にないと思う。飲み慣れている薬があればあった方が安心だと思う。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26.5 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English-Intermediate	英語 中級
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	5
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミナール(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	skorge
授業内容	英語の文法、会話
試験・課題など	筆記試験、プレゼンテーション
感想を自由記入	英語の授業はオンラインが多く、対面の授業をとりたかったためこの授業を履修した。内容には少し物足りなさを感じたが友達を作るいい機会になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch Intensiv	ドイツ語集中講義
科目設置学部・研究科	
履修期間	3 月中 平日毎日 9:00-13:00
単位数	5
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミナール (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	kocin
授業内容	ドイツ語の文法、スピーチング
試験・課題など	プレゼンテーション

感想を自由記入	毎日授業があるのは大変だったが、ドイツ語漬けになるのでとても勉強になる。ゼミナール形式なので友達もできやすい。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
German for Beginners	ドイツ語
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	4
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Didier
授業内容	ドイツ語の文法、スピーキング
試験・課題など	筆記試験、プレゼンテーション
感想を自由記入	先生がとても素敵で、クラスの雰囲気がとてもよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Aussprachetraining für Deutsch als Fremdsprache	ドイツ語発音トレーニング
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	2
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミナール (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Rink
授業内容	ドイツ語の発音を学ぶ
試験・課題など	詩やラップの暗唱、みんなの前で発表
感想を自由記入	ドイツ語の発音練習にとてもいい練習になった。授業は全てドイツ語で行われるのでドイツ語に慣れるいい機会だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Literary Analysis and Interpretation	文学の分析、解釈 入門
科目設置学部・研究科	literature wissenschaft
履修期間	1 セメスター
単位数	2
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Andres
授業内容	文学のテキストを読み込み、どう分析するのか、どのように分類するのか、そしてそれらをどのように解釈していくのかを学ぶ。
試験・課題など	オンライン試験
感想を自由記入	演劇を学んでいる私にとってテキストの読み方を学べるのは大変勉強になった。単位にはならないが、この授業と並行してチュートリアルも毎週開講されているのでそれも受けるとさらに勉強になる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English vocabulary Building and Conversation	英語 単語と会話
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	2.5
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Loghin
授業内容	英語で会話する。
試験・課題など	エッセイの提出、プレゼンテーション
感想を自由記入	友人に勧められたため履修。英語で文章を書く良い練習になった。また、政治や文化についてのディスカッションをすることも多かったので異文化を学ぶいい機会だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch für Fortgeschrittene	ドイツ語
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミナール (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Didier
授業内容	ドイツ語の文法、スピーキング
試験・課題など	筆記試験、プレゼンテーション
感想を自由記入	夏学期の先生がとてもよかったです。冬学期も同じ先生の授業を履修しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Linguistics I	言語学 入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	2
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Zähres
授業内容	言語学の基礎について学ぶ。
試験・課題など	毎週の課題、小テスト、最後に筆記試験
感想を自由記入	専門用語などもあって難しかったが、大変興味深く楽しい授業だった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えて下さい。また、その企業を選んだ理由も教えて下さい。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えて下さい。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えて下さい。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学出願
	10月～12月	留学前面談、航空券購入
留学開始年	1月～3月	渡航、ドイツ語集中コースに参加、住居登録やビザ申請
	4月～7月	授業、ビザ受け取り、学期末試験、新しい住居探し
	8月～9月	8月サマースクール、9月集中コース参加、引っ越し、合唱団参加
	10月～12月	玉ねぎまつり(ワイマール)、クリスマスパーティー、クリスマスマーケット、旅行
留学/帰国年	1月～3月	試験、帰国準備、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

ビーレフェルトは小さくはない街ですが、治安も悪いわけではなく、自然もたくさんあり、とても住みやすかったです。(それでも特にHBFの近くはドラッグを使っている人も多いので夜一人であるのかは避けたほうがいいと思います。)街の中心にお店が集まっていて、スーパーも街中にたくさんあるのでとても便利でした。特に私は中央駅近くの Aldi と Edeka というスーパーの真上の寮に住んでいたので、すぐ買い物に行くことができました。

ビザ取得には時間がかかると聞いていたのですが、私は到着から 1 ヶ月半ほどでできました。閉鎖講座など日本でできるものは準備して、着いたら住所登録、携帯電話の契約、そして大学からの在学証明をできるだけ早くもらい、ビザを申請するとスムーズです。

大学はとても大きくて、初めは迷子になることも多かったです。また最近新校舎が建ち、そのパソコンルームがとても素敵なのでぜひ行ってみてください。図書館も 4 つほどあり、自習をするのによく使っていました。メンザ(学食)もメインが 1.8 ユーロと安く食べたので良かったです。また、Semester fee を払うと DB ticket が使えるようになります。このチケットがあればドイツ国内の RB Bahn やバス、地下鉄、市電などが乗り放題になるので、私はこのチケットを使ってよくドイツ各地を旅行しました。

授業は講義スタイルのものと、ゼミナールと呼ばれる少人数グループの授業があります。そして学期中は週に 2 回ドイツ語の授業が開講されています。このドイツ語の授業ではいろんな国籍を持つメンバーが参加しているため、インターナショナルな友人が増えるとともにさまざまな文化も知ることができるので、ぜひ参加してほしいです。

この 1 年間を通して、私は多くのことを経験し、成長することができたと感じています。留学が終わってしまったのを信じたくないほど、本当に楽しくて充実した 1 年間でした。合唱団に入ったり、スキーに行ったり、ヨーロッパ中を旅行したり、パーティーをしたり、徹夜で準備してドイツ語でプレゼンをしたり、様々なことを経験しました。なによりたくさんの素敵なお人たちに出会うことができました。銀行の開設がなかなかできなかったり、ATM からカードが戻ってこなかったり、寮の契約が留学の途中で切れてしまったり、自分一人ではどうしようもない問題が起きたこともあります。しかし、それでも 1 年間存分に楽しめたのは、多くの人たちに関わり、助けられたからだと思っています。大変なことがあっても必ず助けてくれる人がいるので、一人で抱え込まずに素直に周りの人に SOS を出すことが、上手に海外生活を送るコツだと私は思っています。そして、怖がらずにどんどんいろんな人と繋がっていってほしいです。コミュニティーを広げることは、自分の世界や価値観を広げてくれ、人生をより豊かにしてくれます。留学に来たからこそできる体験、経験を積み、素敵なお友達をたくさん作ってください。